

小曾木5丁目(岩蔵) お精進(大わらじ作り)



平成26年7月27日(日)、小曾木5丁目(通称:岩蔵地区)の岩蔵会館にて大わらじ作りのご精進が行われました。

この大わらじ作りは以前からこの地域でこの時期に行われており、地域の入口に大わらじを下げておくことにより「この地域にはこんな大わらじを履く大男がいるので悪霊が寄り付

かない」との言い伝えから作り続けられているそうです。当日は、わらから縄をない、大わらじ作りに入ります。長さが40cmほどもある大わらじは6つ作り、それぞれ1個から6個の直径2cmほどの穴が開くように担当を決めて作っています。練習で作っている方もおりました。

作られた大わらじは、地域の境の5箇所にお礼とともに下げられます。



また、1つの大わらじは小曾木5丁目の運動広場に上る道のさらに奥にある大岩(雄岩)にも祀られます。とても大きなこの大岩は、岩蔵の地名にもつながる由緒ある岩のようです。山道の反対側には雌岩(めいわ)もあります。

会館に戻ると直会(なおりい)と呼ばれる懇親会となります。



大岩へ奉納された大わらじ



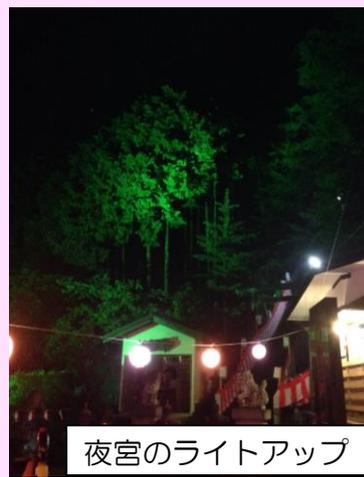
穴が3つの大わらじ

小曾木3丁目 八坂神社例大祭

平成26年7月、小曾木3丁目(通称:荒田地区)で、八坂神社の例大祭が20日(日)に行われました。

例大祭の全体準備は、7月12日の花作りから始まります。万燈を作る1mと2.3mの竹ひごに花を付けた子供会のリヤカーに花飾りをします。

個別の動きでは子供会の子も達には、6月末から荒田囃子連による囃子の指導も行われています。神社総代・祭典委員による準備では、7月13日には草刈



夜宮のライトアップ



りや万燈作りもあります。

例大祭前夜の7月19日には夜宮が行われます。荒田囃子連によるお囃子、子供会による金魚すくいや射的に、今年は緑ソフトボールクラブによるかき氷やフランクフルトも加わり、さらに八坂神社境内のライトアップも行われ、例年以上に人も集まり、明るくにぎやかに行われました。

7月20日の例大祭には、万燈、神輿、手古舞、山車が列を作って巡行されます。途中、小曾木市民センターの所には、大門地区の居囃子にも加わっていただき盛り上がりを見せています。今年は途中一時的に強い雨の場面もありましたが、駐在さんなどのご協力が無事に終えることができました。(若林良弘)